

平成 29 年 2 月 14 日

各都道府県スキー連盟会長
教育本部長各位

第 14 回全日本スノーボード技術選手権大会 実行委員長
一般財団法人東京都スキー連盟 会長
菱沼 信夫

第 14 回全日本スノーボード技術選手権大会の決勝種目の変更及び
決勝進出人数の変更について

平素から本連盟の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記について、1 月 18 日付で第 14 回全日本スノーボード技術選手権大会の開催案内を実行委員会（一般財団法人東京都スキー連盟）から各加盟団体に通知いたしました。が、安全性とマテリアルの公平性を鑑み、下記のとおり決勝種目を変更することになりました。また、それに伴い決勝進出人数が変更になりましたので、お手数ですが貴連盟から関係者に周知していただきますようお願い申し上げます。

記

【変更内容】

- ① 決勝種目からフリーライディング（ハーフパイプ）を削除し、決勝種目をフリーライディング（ナチュラル）とショートターン（人口構築物）の 2 種目に変更する。
- ② 決勝種目数を 3 種目から 2 種目に変更する。
- ③ 決勝種目数変更に伴い、決勝進出数を男女各カテゴリともエントリー数の 50%とする。
- ④ 決勝進出ライン順位で同点となった場合は、競技規則「順位の決定・予選」を適用する。

【別添】

- ・ 第 14 回全日本スノーボード技術選手権大会開催要項（変更箇所）
- ・ 競技規則（変更箇所）
- ・ 第 14 回全日本スノーボード技術選手権大会開催要項 2017.2.2 変更後
- ・ 競技規則 2017.2.2 変更後

以上

(変更箇所)**第14回全日本スノーボード技術選手権大会
開催要項**

- 【主催】 公益財団法人全日本スキー連盟
 【主管】 一般財団法人東京都スキー連盟
 【特別協賛】 ゼビオグループ
 【後援】 南魚沼市・株式会社上越観光開発・上越国際観光協会
 【協力】 公益財団法人新潟県スキー連盟・公益財団法人神奈川県スキー連盟
 【会場】 上越国際スキー場
 〒949-6431 新潟県南魚沼市樺野沢112番地1号
 【実行委員会】 第14回全日本スノーボード技術選手権大会事務局
 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-15 平河町小池ビル2F
 一般財団法人東京都スキー連盟内 TEL: 03(3262)2491 FAX: 03-3264-6540
 【競技本部】 開設: 3月1日(水) 9:00~
 ホテルグリーンプラザ上越 ラウンジライラック奥 TEL: 070-1323-2644
 【大会日程】

日 程	時 間	内 容	場 所
3月2日(木) [第一日目]	9:00~13:00 10:00~12:00 13:00~15:00 16:00~16:45 17:00~ 18:30~	選手受付・第1回マテリアルチェック AMコートオープン(ビブ着用) PMコートオープン(ビブ着用) 第2回マテリアルチェック 開会式 代表者会議	・上越国際観光協会2F ・南魚沼市民会館(大ホール) ・上越国際観光開発
3月3日(金) [第二日目]	8:20~ 8:45 9:00~ 17:30~	インスペクション(各カテゴリー1種目目) ~予選競技開始~ ・フリーライディング(人工構築物) インスペクション(各カテゴリー2種目目) ・ショートターン(整地) 代表者会議 公式記録発表(代表者会議終了後30分目途)	・長峰第3ゲレンデ ・美奈ゲレンデ ・上越国際観光協会2F
3月4日(土) [第三日目]	8:20~ 8:45 9:00~ 17:30~	インスペクション(各カテゴリー1種目目) ~予選競技開始~ ・ミドルターン(人工構築物) インスペクション(各カテゴリー2種目目) ・フリーライディング(ナチュラル) 代表者会議 公式記録発表(代表者会議終了後30分目途)	・長峰第3ゲレンデ ・美奈ゲレンデ ・上越国際観光協会2F
3月5日(日) 決勝 [第四日目]	8:20~ 8:45 9:00~ 14:00(予定)	インスペクション(各カテゴリー1種目目) ~決勝競技開始~ ・フリーライディング(ナチュラル) インスペクション(各カテゴリー2種目目) ・ショートターン(人工構築物) ・フリーライディング(ハーフパイプ) 成績発表・閉会式 公式記録発表	・大別当ゲレンデ ・長峰第3ゲレンデ ・長峰ハーフパイプ ・長峰第3コールドエリア 赤枠削除 (2カ所)

※公式掲示は三カ所【上越国際スクール前・上越国際観協会・競技本部前】

【競技種目】 ◆予選

- ・フリーライディング (人工構築物) 長峰第3ゲレンデ
- ・ショートターン (整地) 美奈ゲレンデ

◆予選

- ・ミドルターン (人工構築物) 長峰第3ゲレンデ
- ・フリーライディング (ナチュラル) 美奈ゲレンデ

◆決勝

- ・フリーライディング (ナチュラル) 大別当ゲレンデ
- ・ショートターン (人工構築物) 長峰第3ゲレンデ
- ・フリーライディング (ハーフパイプ) 長峰ハーフパイプ

赤枠削除

※天候及び斜面状況により、種目の内容及び順序を変更することもある。その場合は場内放送及び公式掲示にて周知する

【競技方法】

1. 規制されたコートにおいて種目内容の滑走を行う
2. 予選は競技4種目5審3採用（上下カット）で2審判団がジャッジを行う
班別及び班中のローテーションを行う
原則として女子班の競技を先に行う
3. 決勝は競技3種目5審3採用（上下カット）で2審判団がジャッジを行う
原則として女子班の競技を先に行う
決勝の滑走順は決勝進出者をコンピュータードロー等により決定する
4. 予選・決勝の順位決定は競技規則に準ずる

【決勝進出人数】

合計	105名	
・フリースタイル男子	50名	・アルペン男子20名
・フリースタイル女子	30名	・アルペン女子 5名

男女各カテゴリともエントリー数の50%とする。

赤枠内を左記文章に変更

【その他】危機管理上、大会エリアでのドローンの飛行は禁止とする。
但し、オフィシャルな映像に関するものについてはこの限りではない

【出場資格】出場者は次の各号に掲げる項目を満たしていなければなりません
(共通項目)

1. 日本国籍を有する者
2. 2017年度のSAJ会員登録を完了している者
3. 各種保険会社の傷害保険に加入している者（未加入者は参加できません）
4. 参加申し込み時点で満18歳以上であり、SAJスノーボードバジジテスト1級以上の認定を受けている者
5. 加盟団体が主催する予選会を通過し、加盟団体長の推薦を受けた者
6. (公財)全日本スキー連盟会長が認めたもの

【出場枠】 2017年度教育本部オフィシャルブック1の40ページに記載されている出場枠をご確認ください

【表彰】 総合得点により、各部門男女別に表彰する

- ・フリースタイル部門・・・・・・・・男子10位、女子10位
- ・アルペン部門・・・・・・・・男子10位、女子10位

※10名に満たない部門については、**実行委員会**の判断により表彰対象を決定する

赤枠内の文言を右記文に変更 → 組織

【申込方法】参加者は大会申込書を加盟団体が定める期日までに提出してください
加盟団体は大会申込書（正・副）及び主管である（一財）東京都スキー連盟事務局より送付される
出場申込書（エクセルデータ）に入力して期限までに提出してください。

【申込先】加盟団体は下記の申込先Ⅰ・Ⅱの2ヶ所へそれぞれ郵送でお申込みください。

加盟団体は、下記の申込先Ⅰ・Ⅱの2か所へそれぞれ郵送でお申込みください。

〔申込先Ⅰ〕

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

公益財団法人全日本スキー連盟「第14回全日本スノーボード技術選手権大会」係宛

(提出物) ①②をクリップ留めすること

- ① 第14回全日本スノーボード技術選手権大会申込書（正本） 1部

（2017年度教育本部オフィシャルブック2P56を参照のこと）

- ② コマーシャルマーケティング申請書セット 1部

（申請書に実物大のロゴマークデザイン（写）をA4用紙でホチキス留めしたセット）

*申請書はロゴマーク1つにつき1枚提出しなければなりません。

実物大のロゴマークデザインをA4用紙でホチキス留めすること。

(SAJのHPからダウンロードしてください)

- ③ 申込み集計表デジタルデータ (USBメモリーで提出してください)
- ④ 送金案内書 (H29年度送金案内書の技術選の様式を使用してください)

〔申込先Ⅱ〕

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-15 平河町小池ビル2F

一般財団法人東京都スキー連盟「第14回全日本スノーボード技術選手権大会事務局」

(提出物) ①②をクリップ留めすること

- ① 第14回スノーボード技術選手権大会申込書(副本)1部
- ② コマーシャルマーケティング申請書セット 1部
(申請書に実物大のロゴマークデザイン(写)をA4用紙でホチキス留め)
- ③ 第14回スノーボード技術選手権大会出場選手申込書(エクセルシート資料⑤)

種目別・男女別の4つのエクセルシート資料⑥に必要事項を入力後、(一財)東京都スキー連盟事務局にお送りください

*別途各連盟宛にエクセルシート資料⑤をお送りします。

【申込期限】平成29年2月7日(火)必着厳守のこと

*予選会の開催日程により申込期限に間に合わない場合は、SAJ事務局及び、都連事務局に一報ください。

【参加料】加盟団体は、選手1名につき参加料10,000円を平成29年2月7日(火)までに

全日本スキー連盟の指定口座にお振込みください。

(送金先)みずほ銀行 渋谷支店 普通口座 501194

公益財団法人全日本スキー連盟

【その他】

- ① 出場選手の資格変更等の届出は、開会式当日のAM10時までに書類を組織委員会宛に提出してください。
ただし、組織委員会終了後にケガ等でやむを得ず出場選手の変更が必要になった場合は、この限りではありません。
- ② TCミーティングへの出席は、監督またはコーチ1名とします。
ただし、特別の事情がある場合は、事前に競技本部に届け出てください。
- ③ 組織委員会において、日程、種目、出場枠及び運営全般に関わる事項の変更が決定した場合は、その内容を加盟団体に告知します。
ただし、直近または大会期間中の場合は、TCミーティング、公式掲示板に掲示して告知します。

〈コマーシャルマーケティングの申請について〉

- ① ヘルメット(1種類1箇所50cm²以内)と腕(合計面積50cm²以内で分割して複数種類可)にワッペン又はシールをつけることができます。ただし、ヘルメットメーカー及びウェアメーカーのロゴが隠れてはなりません。
- ② たばこ、ドラッグ(大麻等の違法薬物)、ギャンブル又はアルコール等については認められません。
- ③ 申請は、本大会申込書と同時に、本大会のコマーシャルマーケティング申請書を提出しなければなりません。

● 全日本スノーボード技術選手権大会 注意事項

(ソーシャルメディアを用いての情報発信について)

1. 掲載できる情報について

「参加者」が、ソーシャルメディアで発信できるのは、自分自身の本大会に関連した体験のみです。他の「参加者」へのインタビューや、他の「参加者」に関する記述を掲載する事は出来ません。また、「参加者」自身の本大会・チームや他の「参加者」のプライバシーを侵害したり、競技大会のセキュリティ、開催及び組織運営の情報漏洩につながる可能性のある機密や個人情報を開示することは出来ません。ソーシャルメディアで発信する内容は、いかなる場合でも、品位あるものでなければなりません。

2. 静止画像の使用について

「参加者」は、競技大会の競技シーン、開閉会式を含まないことを条件に、ゴールゾーンや表彰式で自身が写った静止画像をソーシャルメディアに掲載することが出来ます。ただし、いかなる方法においても、静止画像を連続的に複製することによって、動画を模倣することは認められません。なお、写真に写りこんでいる他人の肖像の掲載については、「参加者」の責任において、本人から同意を取り付けてください。

■宿泊申し込みについて

【申込方法】別紙⑩⑪⑫の案内にて各都道府県連スキー連盟が取りまとめお申込み下さい。

競技規則

本大会の競技規則は、第14回全日本スノーボード技術選手権大会開催要項及び、全日本スキー技術選手権大会運営細則に準じ行う。

【公式用品用具の使用に関して】

競技中は、マテリアルチェックを受けた用具を使用するものとし、スタート審判の確認を受けることとする。

【ヘルメットの着用に関して】

競技中はヘルメットを着用しなければならない。

【ピブスの着用に関して】

インスペクション等でコートに入る際は、必ずピブスを外側に着用することとする。

【スタート要領に関して】

1. 選手は各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け応答しなくてはならない。
2. 選手は前者の出発後直ちにスタート位置につき準備を整える
3. 選手はスタート審判の合図により出発する。直ちに出发しない場合は、当該種目を棄権したものとみなす。

【フィニッシュの要領について】

フィニッシュはコート下部の左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過をもって競技終了とする。

※安全のためフィニッシュライン通過後はスピードコントロールを行い減速すること

【演技の中断等に関して】

1. 演技を中断した場合は、その位置で体制を整え再スタートする。中断が長引く場合は審判長の指示に従う。
2. 選手は係員の助けを受けることができる。
3. やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は当該種目の得点は0点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

【コートインスペクションについて】

1. コート設定後のインスペクションは原則としてコート外から行う。ただし必要がある時は事前に公示・通告し横滑りによりコート内に入り行うことがある。
2. インスペクションの際には、必ずピブスを外側に着用することとする。
3. 詳細については代表者会議にて伝える。

【抗議に関して】

抗議は監督又は、コーチが書面を持って競技委員長に提出する。ただし急を要する場合は当該コートの審判長に申し出ることができる（競技終了後5分以内とする）。

【斜面の設定に関して】

1. 競技斜面はその条件を満たせる設定を行う。
2. 種目の規制要領は別途提示する。

【審判員・審判方法などに関して】

1. 競技種目の採点は公開表示による5審判3採用で行う。
2. 採点は1審判100点満点とし減点法により行う。
3. 規定違反の減点は審判団の中で協議する。

【大会中の日程などの変更に関して】

会期中天候やその他の状況によって実施方法、コート変更する事がある。その場合は裁定委員会で決定する。

【広報・掲示などに関して】

大会の成績及び変更内容は公式掲示をする。

【順位の決定】

1. 予選
 - 4種目の合計点で決定する。
※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
 - ① フリーライディング（ナチュラル）の得点上位者とする。
 - ② 上記①で決定しない時は、フリーライディング（人工構築物）の得点上位者とする。
 - ③ 上記②で決定しない時は、ミドルターン（人工構築物）の得点上位者とする。
 - ④ 上記③で決定しない時は、ショートターン（整地）の得点上位者とする。
 - ⑤ 上記で決定しない場合は同順位とする。
2. 決勝
 - 3種目（予選4種目を合算）の合計得点で決定する。
※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
 - ① 決勝種目合計点の上位者とする。
 - ② 上記①で決定しない時は、予選種目合計点の上位者とする。
 - ③ 上記②で決定しない時は、決勝フリーライディング（ナチュラル）の得点上位者とする。
 - ④ 上記③で決定しない時は、ショートターン（人工構築物）の得点上位者とする。
 - ⑤ 上記④で決定しない時は、フリーライディング（ハーフパイプ）の得点上位者とする。
 - ⑥ 上記で決定しない場合はくじ引きとする。削除

【その他】

競技会中のすべての最終決定は裁定委員会の決定による。

変更後

第14回全日本スノーボード技術選手権大会 開催要項

2017.2.2

- 【主催】 公益財団法人全日本スキー連盟
 【主管】 一般財団法人東京都スキー連盟
 【特別協賛】 ゼビオグループ
 【後援】 南魚沼市・株式会社上越観光開発・上越国際観光協会
 【協力】 公益財団法人新潟県スキー連盟・公益財団法人神奈川県スキー連盟
 【会場】 上越国際スキー場
 〒949-6431 新潟県南魚沼市樺野沢112番地1号
 【実行委員会】 第14回全日本スノーボード技術選手権大会事務局
 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-15 平河町小池ビル2F
 一般財団法人東京都スキー連盟内 TEL:03(3262)2491 FAX:03-3264-6540
 【競技本部】 開設:3月1日(水)9:00~
 ホテルグリーンプラザ上越 ラウンジライラック奥 TEL:070-1323-2644

【大会日程】

日 程	時 間	内 容	場 所
3月2日(木) [第一日目]	9:00~13:00 10:00~12:00 13:00~15:00 16:00~16:45 17:00~ 18:30~	選手受付・第1回マテリアルチェック AMコートオープン(ビブ着用) PMコートオープン(ビブ着用) 第2回マテリアルチェック 開会式 代表者会議	・上越国際観光協会2F } ・南魚沼市民会館(大ホール) ・上越国際観光開発
3月3日(金) [第二日目]	8:20~ 8:45 9:00~ 17:30~	インスペクション(各カテゴリー1種目目) ~予選競技開始~ ・フリーライディング(人工構築物) インスペクション(各カテゴリー2種目目) ・ショートターン(整地) 代表者会議 公式記録発表(代表者会議終了後30分目途)	・長峰第3ゲレンデ ・美奈ゲレンデ ・上越国際観光協会2F
3月4日(土) [第三日目]	8:20~ 8:45 9:00~ 17:30~	インスペクション(各カテゴリー1種目目) ~予選競技開始~ ・ミドルターン(人工構築物) インスペクション(各カテゴリー2種目目) ・フリーライディング(ナチュラル) 代表者会議 公式記録発表(代表者会議終了後30分目途)	・長峰第3ゲレンデ ・美奈ゲレンデ ・上越国際観光協会2F
3月5日(日) 決勝 [第四日目]	8:20~ 8:45 9:00~ 14:00(予定)	インスペクション(各カテゴリー1種目目) ~決勝競技開始~ ・フリーライディング(ナチュラル) インスペクション(各カテゴリー2種目目) ・ショートターン(人工構築物) 成績発表・閉会式 公式記録発表	・大別当ゲレンデ ・長峰第3ゲレンデ ・長峰第3ゴールエリア

※公式掲示は三カ所【上越国際スクール前・上越国際観光協会・競技本部前】

【競技種目】 ◆予選

- ・フリーライディング (人工構築物) 長峰第3ゲレンデ
- ・ショートターン (整地) 美奈ゲレンデ

◆予選

- ・ミドルターン (人工構築物) 長峰第3ゲレンデ
- ・フリーライディング (ナチュラル) 美奈ゲレンデ

◆決勝

- ・フリーライディング (ナチュラル) 大別当ゲレンデ
- ・ショートターン (人工構築物) 長峰第3ゲレンデ

※天候及び斜面状況により、種目の内容及び順序を変更することもある。その場合は場内放送及び公式掲示にて周知する

【競技方法】

1. 規制されたコートにおいて種目内容の滑走を行う
2. 予選は競技4種目5審3採用（上下カット）で2審判団がジャッジを行う
班別及び班中のローテーションを行う
原則として女子班の競技を先に行う
3. 決勝は競技3種目5審3採用（上下カット）で2審判団がジャッジを行う
原則として女子班の競技を先に行う
決勝の滑走順は決勝進出者をコンピュータードロー等により決定する
4. 予選・決勝の順位決定は競技規則に準ずる

【決勝進出人数】 男女各カテゴリともエントリー数の50%とする。

【その他】 危機管理上、大会エリアでのドローンの飛行は禁止とする。
但し、オフィシャルな映像に関するものについてはこの限りではない

【出場資格】 出場者は次の各号に掲げる項目を満たしていなければなりません
(共通項目)

1. 日本国籍を有する者
2. 2017年度のSAJ会員登録を完了している者
3. 各種保険会社の傷害保険に加入している者（未加入者は参加できません）
4. 参加申し込み時点で満18歳以上であり、SAJスノーボードバジジテスト1級以上の認定を受けている者
5. 加盟団体が主催する予選会を通過し、加盟団体長の推薦を受けた者
6. (公財)全日本スキー連盟会長が認めたもの

【出場枠】 2017年度教育本部オフィシャルブック1の40ページに記載されている出場枠をご確認ください

【表彰】 総合得点により、各部門男女別に表彰する

- ・フリースタイル部門・・・・・・・・男子10位、女子10位
 - ・アルペン部門・・・・・・・・男子10位、女子10位
- ※10名に満たない部門については、組織委員会の判断により表彰対象を決定する

【申込方法】 参加者は大会申込書を加盟団体が定める期日までに提出してください
加盟団体は大会申込書（正・副）及び主管である（一財）東京都スキー連盟事務局より送付される
出場申込書（エクセルデータ）に入力して期限までに提出してください。

【申込先】 加盟団体は下記の申込先Ⅰ・Ⅱの2ヶ所へそれぞれ郵送でお申込みください。

加盟団体は、下記の申込先Ⅰ・Ⅱの2ヶ所へそれぞれ郵送でお申込みください。

〔申込先Ⅰ〕

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

公益財団法人全日本スキー連盟「第14回全日本スノーボード技術選手権大会」係宛

(提出物) ①②をクリップ留めすること

- ① 第14回全日本スノーボード技術選手権大会申込書（正本） 1部
(2017年度教育本部オフィシャルブック2P56を参照のこと)
- ② コマーシャルマーケティング申請書セット 1部
(申請書に実物大のロゴマークデザイン(写)をA4用紙でホチキス留めしたセット)
*申請書はロゴマーク1つにつき1枚提出しなければなりません。
実物大のロゴマークデザインをA4用紙でホチキス留めすること。
(SAJのHPからダウンロードしてください)
- ③ 申込み集計表デジタルデータ (USBメモリーで提出してください)
- ④ 送金案内書 (H29年度送金案内書の技術選の様式を使用してください)

〔申込先Ⅱ〕

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-15 平河町小池ビル2F

一般財団法人東京都スキー連盟「第14回全日本スノーボード技術選手権大会事務局」

(提出物) ①②をクリップ留めすること

① 第14回スノーボード技術選手権大会申込書(副本)1部

② コマーシャルマーケティング申請書セット 1部

(申請書に実物大のロゴマークデザイン(写)をA4用紙でホチキス留め)

③ 第14回スノーボード技術選手権大会出場選手申込書(エクセルシート資料⑤)

種目別・男女別の4つのエクセルシート資料⑥に必要な事項を入力後、(一財)東京都スキー連盟事務局にお送りください

*別途各連盟宛にエクセルシート資料⑤をお送りします。

【申込期限】平成29年2月7日(火)必着厳守のこと

*予選会の開催日程により申込期限に間に合わない場合は、SAJ事務局及び、都連事務局に一報ください。【参加料】加盟団体は、選手1名につき参加料10,000円を平成29年2月7日(火)までに
全日本スキー連盟の指定口座にお振込みください。

(送金先)みずほ銀行 渋谷支店 普通口座 501194

公益財団法人全日本スキー連盟

【その他】

- ① 出場選手の資格変更等の届出は、開会式当日のAM10時までに書類を組織委員会宛に提出してください。
ただし、組織委員会終了後にケガ等でやむを得ず出場選手の変更が必要になった場合は、この限りではありません。
- ② TCミーティングへの出席は、監督またはコーチ1名とします。
ただし、特別の事情がある場合は、事前に競技本部に届け出てください。
- ③ 組織委員会において、日程、種目、出場枠及び運営全般に関わる事項の変更が決定した場合は、その内容を加盟団体に告知します。
ただし、直近または大会期間中の場合は、TCミーティング、公式掲示板に掲示して告知します。

〈コマーシャルマーケティングの申請について〉

- ① ヘルメット(1種類1箇所50cm²以内)と腕(合計面積50cm²以内で分割して複数種類可)にワッペン又はシールをつけることができます。ただし、ヘルメットメーカー及びウェアメーカーのロゴが隠れてはなりません。
- ② たばこ、ドラッグ(大麻等の違法薬物)、ギャンブル又はアルコール等については認められません。
- ③ 申請は、本大会申込書と同時に、本大会のコマーシャルマーケティング申請書を提出しなければなりません。

● 全日本スノーボード技術選手権大会 注意事項

(ソーシャルメディアを用いての情報発信について)

1. 掲載できる情報について

「参加者」が、ソーシャルメディアで発信できるのは、自分自身の本大会に関連した体験のみです。他の「参加者」へのインタビューや、他の「参加者」に関する記述を掲載する事は出来ません。また、「参加者」自身の本大会・チームや他の「参加者」のプライバシーを侵害したり、競技大会のセキュリティ、開催及び組織運営の情報漏洩につながる可能性のある機密や個人情報を開示することは出来ません。ソーシャルメディアで発信する内容は、いかなる場合でも、品位あるものでなければなりません。

2. 静止画像の使用について

「参加者」は、競技大会の競技シーン、開閉会式を含まないことを条件に、ゴールゾーンや表彰式で自身が写った静止画像をソーシャルメディアに掲載することが出来ます。ただし、いかなる方法においても、静止画像を連続的に複製することによって、動画を模倣することは認められません。なお、写真に写りこんでいる他人の肖像の掲載については、「参加者」の責任において、本人から同意を取り付けてください。

■ 宿泊申し込みについて

【申込方法】別紙⑩⑪⑫の案内にて各都道府県連スキー連盟が取りまとめお申込み下さい。

競技規則

本大会の競技規則は、第14回全日本スノーボード技術選手権大会開催要項及び、全日本スキー技術選手権大会運営細則に準じ行う。

【公式用品用具の使用に関して】

競技中は、マテリアルチェックを受けた用具を使用するものとし、スタート審判の確認を受けることとする。

【ヘルメットの着用に関して】

競技中はヘルメットを着用しなければならない。

【ビブスの着用に関して】

インスペクション等でコートに入る際は、必ずビブスを外側に着用することとする。

【スタート要領に関して】

1. 選手は各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け応答しなくてはならない。
2. 選手は前者の出発後直ちにスタート位置につき準備を整える
3. 選手はスタート審判の合図により出発する。直ちに出发しない場合は、当該種目を棄権したものとみなす。

【フィニッシュの要領について】

フィニッシュはコート下部の左右にある目印を結びフィニッシュラインの通過をもって競技終了とする。

※安全のためフィニッシュライン通過後はスピードコントロールを行い減速すること

【演技の中断等に関して】

1. 演技を中断した場合は、その位置で体制を整え再スタートする。中断が長引く場合は審判長の指示に従う。
2. 選手は係員の助けを受けることができる。
3. やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は当該種目の得点は0点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

【コートインスペクションについて】

1. コート設定後のインスペクションは原則としてコート外から行う。ただし必要がある時は事前に公示・通告し横滑りによりコート内に入り行うことがある。
2. インスペクションの際には、必ずビブスを外側に着用することとする。
3. 詳細については代表者会議にて伝える。

【抗議に関して】

抗議は監督又は、コーチが書面を持って競技委員長に提出する。ただし急を要する場合は当該コートの審判長に申し出ることができる（競技終了後5分以内とする）。

【斜面の設定に関して】

1. 競技斜面はその条件を満たせる設定を行う。
2. 種目の規制要領は別途提示する。

【審判員・審判方法などに関して】

1. 競技種目の採点は公開表示による5審判3採用で行う。
2. 採点は1審判100点満点とし減点法により行う。
3. 規定違反の減点は審判団の中で協議する。

【大会中の日程などの変更に関して】

会期中天候やその他の状況によって実施方法、コート変更する事がある。その場合は裁定委員会で決定する。

【広報・掲示などに関して】

大会の成績及び変更内容は公式掲示をする。

【順位の決定】

1. 予選
 - 4種目の合計点で決定する。
※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
 - ① フリーライディング（ナチュラル）の得点上位者とする。
 - ② 上記①で決定しない時は、フリーライディング（人工構築物）の得点上位者とする。
 - ③ 上記②で決定しない時は、ミドルターン（人工構築物）の得点上位者とする。
 - ④ 上記③で決定しない時は、ショートターン（整地）の得点上位者とする。
 - ⑤ 上記で決定しない場合は同順位とする。
2. 決勝
 - 2種目（予選4種目を合算）の合計得点で決定する。
※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
 - ① 決勝種目合計点の上位者とする。
 - ② 上記①で決定しない時は、予選種目合計点の上位者とする。
 - ③ 上記②で決定しない時は、決勝フリーライディング（ナチュラル）の得点上位者とする。
 - ④ 上記③で決定しない時は、ショートターン（人工構築物）の得点上位者とする。
 - ⑤ 上記で決定しない場合はくじ引きとする。

【その他】

競技会中のすべての最終決定は裁定委員会の決定による。